

平成 25 年度社会福祉法人地域で一緒に暮らそう会 事業報告

1.法人の基本理念

社会福祉法人地域で一緒に暮らそう会は、法人定款第 1 条に基づき、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援する。

2.理事会・評議員会の開催

(1) 理事会の開催

今年度は当初計画になかった、音更町第 2 発達支援センター運営の受託及び訪問看護事業の開設等に伴う議題が上がり、以下の開催となった。

	開催日	参加人数	主な議案
第 1 回	5月25日	理事5名	平成24年度事業報告、平成24年度決算報告、医療体制要綱の制定、医療体制実施計画、放課後等デイサービスにおける医療連携に関する覚書の報告等
第 2 回	5月26日	理事5名	第 1 回評議員会の報告、議案の決定
第 3 回	10月11日	理事5名 監事1名	音更町第2発達支援センター運営受託及び訪問看護事業開設にむけ定款の変更、平成25年度補正予算、苦情解決第三者委員の選出、第一四半期監査報告等
第 4 回	10月19日	理事5名	第 2 回評議員会の報告、議案の決定
第 5 回	2月8日 9:30～	理事5名	定款・定款細則の一部変更、欠員理事の選任、キャリアアップ助成金、就業規則の一部改定等
第 6 回	2月8日 11:45～	理事7名	第 3 回評議員会の報告、議案の決定
第 7 回	3月2日	理事6名	平成26年度事業計画及び予算案、平成24年3月10日制定の就業規則の廃止及び正規職員就業規則の制定、新評議員・新理事候補予定者について等
第 8 回	3月8日	理事6名	第 4 回評議員会の報告、議案の決定
第 9 回	3月11日	理事6名	新理事の選任、新理事長の選任、新専務理事の選任等

(2) 評議員会の開催

今年度は以下のとおり開催した。

回数	開催日	参加人数	内容
第1回	5月26日	12名	平成24年度事業報告、平成24年度決算報告、医療体制要綱の制定、医療体制実施計画、放課後等デイサービスにおける医療連携に関する覚書の報告等
第2回	10月19日	10名	音更町第2発達支援センター運営受託及び訪問看護事業開設にむけ定款の変更、平成25年度補正予算等
第3回	2月8日	10名	定款・定款細則の一部変更、欠員理事の選任、キャリアアップ助成金、就業規則の一部改定等
第4回	3月8日	12名	平成26年度事業計画及び予算案、平成24年3月10日制定の就業規則の廃止及び正規職員就業規則の制定、新評議員の選任結果、新理事・監事の選任について等

3.事業運営

(1) 第2種社会福祉事業

- ①障害福祉サービス事業の経営
- ②相談支援事業の経営
- ③移動支援事業の経営
- ④障害児通所支援事業の経営

(2) 公益を目的とする事業

- ①地域生活支援事業
- ②レスパイトサービス事業
- ③共生型事業
- ④訪問看護事業

平成25年度の利用状況、収入等に関しては以下のとおり

利用者区分 平成26年3月31日現在 (人)

者	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	利用者合計
人数	9	7	3	4	2	0	24
児童	医療的ケア	区分3	区分2	区分1	放課後デイ (第2発達)	発達支援 (第2発達)	
人数	7	6	18	2	5	2	40

4 25年度の重点施策の反省

①法人事業運営にかかわる組織強化

法人設立より、理事者・職員が一丸となって、利用者の立場に立った支援の充実を図り、積極的に攻めの法人運営を行ったことにより大きく成長しました。地域住民の方々から共感を得られる事業所としてまた、今年度は職員研修・支援会議等に重点を置き、専門職のスキルアップに努め、事業年度後期 H26.2 には町より音更町第 2 発達支援センターの運営も受託し、音更町の児童発達支援の専門事業所として重要な役割を果たすことになりました。

事業会計については、法人全体で事業活動収入が前年比 29%増の 147,569 千円、事業活動支出が前年比 33.4%増の 140,282 千円となり、昨年度より導入した会計ソフトにより、各事業の収入・経費配分等が出来るようになったことで、各事業の人件費比率に格差があることが明確になり、今後スタッフ配置等が運営の課題となることが分かりました。

また、平成 25 年度は、日中一時・移動支援事業（市町村事業）から児童発達支援事業（法定サービス）へ児童の利用者のサービス間移動があり、このことによって、人件費比率が下がり、経費が減少しましたが、事業未収入金が平成 25 年 4 月当初 14,743 千円だったのが平成 26 年 3 月決算期には 23,540 千円と約 60%増となり、資金繰りが大変な状況にもなってきました。

②新規事業の定着

児童福祉法に基づく、障害児通所支援事業を 4 月より開始し医療的なケアが必要な利用者・家族にとっては、地域で暮らす社会参加の真のサービスの場となってきました。しかし、その反面、収支の面では人件費比率が 127.11%と非常に高く抑制に向け、更なる医療職と介護職・保育職等スタッフ間の連携等と、より一層職員のケア技術の向上を図る必要性があります。

また、児童放課後等デイサービスに関しては、療育内容にまだまだ多くの課題があり、学齢期の利用者にとって、日中一時支援との差別化を図るためにも、スタッフのスキルアップが当面の課題になると考えます。

第 2 発達支援センターに関しては、まだ定員の約 13%の利用率ですが、新年度も順調に利用者が増えており、開設して間もない状態にもかかわらず、利用者の親より「子供の様子が変わってきた」と喜びの声も頂きました。1 年前から開設のため外部研修等に参加、また他事業所での実践経験が職員のキャリアアップ、まさに支援の幅につながったものと考えます。

訪問看護事業に関しては、現在平成 27 年 3 月末まで、休業届を提出しておりますが、当事業所がやりたかったことと、利用者のニーズに乖離はなかったと考えております。

再度事業開始を考えるとときには、十分な市場調査をし慎重な判断をした上で、事業計画を提出させていただきます。

③ 共生型事業の充実

ワルツの高齢者対象の居室の貸し出しは残念ながら平成 25 年度も事業展開ができませんでした。

高齢者からの問い合わせ等も少なく、ホームページ中心での告示では、入居につながるのが難しく、行政機関・他事業所との情報共有等の必要性を感じます。ただ、スマイルキッチンでの食事提供に関しては、地域高齢者の方たちへの提供食数も増え前年度対比 31%増なり、給食提供数も今年度 6,510 食となりました。事業所の認知度をさらに高めるよう地域の行事等に事業所としても積極的にかかわる等の更なる努力が必要と考えます。

④ スタッフ研修の充実

多様化する事業、利用者が希望するサービスを提供するために職場内研修、外部研修等、個人のスキルアップと同時に事業所の標準的な支援方法の構築を図ってきました。しかし事業所のジレンマとして、ケア技術の向上は際限のないものです。これまでの見守り中心ではなく、まさに療育専門性、事業所の介護力が問われることは必須とあります。そのことをしっかり認識するとともにこれからもスタッフ研修に力を入れていきたいと考えます。

⑤ 保護者支援の充実

全国でも数の少ないペアレントメンターの養成講座が、平成 25 年度は釧路市自閉症親の会で実施されたと伺いました。残念ながら当法人には声がかからなかった為、保護者同志が当事者としてのアドバイスなどを話合う体制づくりのための、人材育成ができませんでした。しかし、児童通所事業を開始したことで、送迎・契約・日々の連絡等の中で定期的に保護者の要望を聞く機会があり、保護者（児童の）との対話を進めることができ、平成 26 年度に 1 歩繋ぐ事が出来たと考えます。

⑥ 災害に備えた地域づくりの推進（計画外）

平成 25 年度計画にはありませんでしたが、災害時要援護者の受け皿として、音更町より 100 万円の指定寄付を初めて頂きました。この寄付金を基に当法人が福祉避難所として活動できるよう発電機等の備品整備を行いました。今後も、食糧備蓄等も含め年度単位に備品の購入に努めていくことが、法人の地域での役割の一端だと考えます。

5. 利用者向け開催した主な行事

利用者向けに開催した主な行事は以下の通り。

月日	内容	場所	参加利用者数
5月11日	カラオケ	歌屋	16人
8月1日	きらきら夏祭り	きらきら	23人
8月19日	カラオケ	歌屋	3人
9月28日	カラオケ	歌屋	7人
11月23日	カラオケ	歌屋	13名
12月14日	クリスマス会	福祉センター	28人
1月16日	成人のお祝い		25人
1月18日	カラオケ	歌屋	20人
2月22日	カラオケ	歌屋	9名
3月15日	カラオケ	歌屋	19名

6.職員・理事研修は以下の通り

月日	内容	主催	職員	理事
5月20日	療育研修	当法人	3	
5月21日	いじめと発達障害	地域センターきら星	3	
5月21日	事業者内介護研修	当法人	22	
5月23日	事業者内介護研修	当法人	11	
5月24日	事業者内介護研修	当法人	9	
5月27日	事業者内介護研修	当法人	12	
6月5日	発達に困り感のある子どもたち…その理解と対応…	音更町子ども発達支援センター	3	
6月25日	安全運転講習	当法人	29	1
6月26日	療育研修	当法人	2	
6月26日	北十勝生活支援ネットワーク会議	十勝障がい者総合相談支援センター	1	
7/4～	児童発達支援	全国児童発達支援協議会	3	

7月18日	計画相談研修	音更町自立支援協議会	3	
7月16日	機械浴講習	当法人	29	1
7月18日	相談支援従事者研修(基礎研修)	北海道CMネット	1	
7月28日	十勝ADHD/LD懇話会 研修会	十勝ADHD/LD懇話会	1	
7月27日	コモンセンスペアレンティング 指導者養成講座	麦の会	1	
9月7日	自閉症スペクトラム講演会	北海道自閉症協会十勝分会	4	
9月7日	よくある合併症・・・発達障害について学ぼう・・・	十勝肢体不自由児療育研究会	4	
9月19日	平成25年度指定福祉サービス事業所等に係る集団指導	十勝総合振興局	1	1
9月19日	相談支援研修会	音更町自立支援協議会	3	
10月22日	相談支援部会	十勝障がい者総合相談支援センター	1	
10月23日	障がい者地域生活支援ネットワーク会議・基礎研修	北十勝生活支援ネットワーク	1	
10月26日	自閉症スペクトラム講演会	北海道自閉症協会十勝分会	1	
10月27日	発達に心配のある子どもの子育て	音更町子ども発達支援センター	3	
11月1日	特別支援教育専門性向上研修講座	十勝教育局義務教育指導班	2	
11月6日	相談支援従事者研修(基礎研修)前	北海道	1	
11月8日	児童発達支援研修(更別どんぐり保育園)	当法人	4	
11月13日	障害児を持つ児童の見立て方について	音更町自立支援協議会	3	
11月12日	施設相談員研修	北海道社会福祉協議会	1	
11月13日	児童発達支援責任者研修	北海道	1	
11月15日	障がい者相談支援センター敬おとふけの活動について	音更町自立支援協議会	4	

11月16日	障害児者に関わるきょうだい・家族・支援者～それぞれの立ち場になって考える～	当法人	32	2
11月21日	人の気持ちを思いやるコミュニケーション術	十勝社会福祉法人経営者懇談会		3
11月26日	安全運転管理者研修	北海道釧路方面公安委員会		1
11月26日	苦情解決システム研修会	北海道福祉サービス運営適正化委員会		1
11月27日	看護師専門研修	北海道社会福祉協議会	2	
12月1日	豊かな十勝の味を生かした安心・安全な食の提供	音更町消費者協会	1	
1月8日	相談支援従事者研修(基礎研修)後	北海道	1	
1月15日	施設長専門研修A	全国児童発達支援協議会		1
1月23日	札幌 さっぽろ こども広場 療育研修	当法人	1	
1月24日	発達に心配のある子どもの療育支援事業視察	当法人	1	2
1月25日	困り感のある子の理解・発達障害児の理解と支援	音更町自立支援協議会	1	
1月28日	メンタルヘルスについて	当法人	33	1
2月4日	児童発達支援責任者研修	北海道	1	
2月12日	障害支援区分への見直しに係る伝達研修	音更町役場	2	
2月12日	帯広養護学校・帯広ケアセンター	当法人		5
2月17日	行動援護従事者養成研修	北海道CMネット	2	
2月25日	救急蘇生法講習	当法人	31	1
2月28日	音更町徘徊高齢者等SOSネットワークシステムの運用	音更町役場	1	
3月19日	共同生活介護・共同生活援助事業所の一元化説明会	十勝総合振興局	1	
3月25日	安全運転講習	当法人	18	

7.職員会議日程

月日		参加人数	内容
平成25年4月2日	常勤会議	12	ケース会議
平成25年4月23日	全体会議	31	ケース会議
平成25年5月7日	常勤会議	13	ケース会議、夏祭りについて
平成25年5月10日	全体会議	30	危機管理について

平成 25 年 5 月 11 日	常勤・固定給	20	事故対策について
平成 25 年 5 月 27 日	全体会議	30	ケース会議
平成 25 年 6 月 4 日	常勤会議	15	ケース会議、避難訓練について
平成 25 年 6 月 25 日	全体会議	29	ケース会議、夏祭りについて
平成 25 年 7 月 2 日	常勤、固定会議	17	ケース会議、夏祭りについて
平成 25 年 7 月 16 日	全体会議	30	ケース会議、夏祭りについて
平成 25 年 8 月 20 日	常勤会議	12	夏祭りの反省、新規利用者について、防災
平成 25 年 8 月 27 日	全体会議	33	夏祭りの反省、ケース会議
平成 25 年 9 月 17 日	常勤会議	15	新規利用者、新規スタッフ、避難訓練に
平成 25 年 9 月 24 日	全体会議	33	新規利用者さんについて、ケース会議
平成 25 年 10 月 22 日	常勤会議	15	ケース会議、クリスマス会について
平成 25 年 10 月 29 日	全体会議	37	ケース会議、クリスマス会について
平成 25 年 11 月 7 日	常勤会議	16	クリスマス会について、ケース会議
平成 25 年 11 月 15 日	常勤会議	14	成人式、クリスマス会について
平成 25 年 11 月 26 日	常勤会議	16	クリスマス会について、ケース会議
平成 25 年 12 月 17 日	全体会議	31	クリスマス会の反省、成人式について
平成 26 年 1 月 9 日	常勤、固定会議	17	成人式を祝う会について
平成 26 年 1 月 16 日	児童デイ関係者	4	事故報告にかんして
平成 26 年 1 月 28 日	常勤会議	15	事故報告と対処について
平成 26 年 1 月 28 日	全体会議	32	児童発達について、ケース会議、事務連絡
平成 26 年 2 月 18 日	常勤、固定会議	18	事務連絡
平成 26 年 2 月 25 日	全体会議	32	事務連絡、研修報告
平成 26 年 2 月 28 日	課長会議	4	新人研修について
平成 26 年 3 月 18 日	常勤会議	13	通所式について、26 年度年間行事予定
平成 26 年 3 月 25 日	全体会議	18	新規通所者について、年間行事予定について

8.理事者と課長・係長・主任との打ち合わせ日程

平成 25 年 5 月 11 日	平成 25 年 9 月 25 日	平成 25 年 10 月 7 日	平成 25 年 11 月 7 日
平成 25 年 12 月 13 日	平成 26 年 2 月 25 日		

(2) 地域社会への貢献

①地域活動の推進

地域の中で私たちの事業所を認識してもらうことを第一の目的に、各種交流事業、夏祭りやクリスマス会など法人の行事を町内会等へ案内し、参加を得てきました。また、平成 24 年度同様に日中活動の中で地域清掃に取り組み、地域社会の一員としての役割を自覚しています。今後とも地域の行事に積極的に参加し、また様々な交流行事を計画し地域に案内することで、地域の中での認知度をあげていきます。

月日	内容	場所	参加人数
8月1日	きらきら夏まつり	施設敷地内全部	300名
10月9日	そば打ち交流	はぐ	35名
12月14日	クリスマス会	音更福祉センター	70名
1月16日	成人を祝う会	音更福祉センター	60名

②地域の福祉人材育成

夏祭り・クリスマス会の開催時に、帯広大谷短期大学生ボランティアを募り、運営に協力してもらうとともに、利用者とも触れ合うことができました。さらに今年度は、職場体験の学生を 1 名迎え、利用者との交流を主に、事業所の概要・サービス等を体験してもらいました。介護を目指す学生の中で認知度をあげることが人材確保の面からも必要な事だと考えます。

音更町の自立支援協議会の一員となり、地域の福祉関係者との懇談や各法人との交流を行っています。

③地域からの支援

当法人への様々な支援を頂いています。寄付金については 13 件 567,056 円、タオルおむつ、ジュースなどの物品寄付が 5 件と、地域の方々より多くの善意を頂いているところです。

また、今年度も交流事業の一つとして音更蕎麦研究会の方々そば打ち体験として、ボランティアで来てくださったり、さらに理事の後藤良勝氏より施設内の除雪に関しボランティアで行ってもらっていることに深く感謝の意を表したい。

(3) 安全管理

①防火・災害管理

防火管理年間計画に基づき、音更消防署の指導を受けながら避難訓練等を実施し法人全体で火災、震災等の予防及び人命の安全並びに災害の防止を図りました。

また、平成 25 年 12 月から当法人の消防計画の更新を迎えたことをきっかけに、組織体系・連絡体制の見直しを行い、災害等の非常時の対応を図りました。

平成 25 年度 防火管理 年間計画

4月	・防災教育(新採用者を対象) ・防火設備 -機器点検-
5月	・避難訓練準備期間-企画・説明- ・消防署員との打ち合わせ
6月	・4施設総合訓練(日中想定)→児童を含む(平日PM)※消火・通報・避難
7月	・暖房器具の点検
8月	・避難訓練準備期間-企画・説明-
9月	・4施設総合訓練(夜間想定)→出火想定はケアホーム※消火・通報・避難
10月	・防火設備 -総合点検-
11月	・火災設備の自主点検
12月	・図上訓練～冬期に関する指導～ ※避難経路の確保の為、除雪が重要であるという周知・指導をする ※除雪用品の過不足を確認し、補充する
1月	・救急講習の企画・準備
2月	・図上訓練 ～救急講習開催～
3月	

平成 25 年度避難訓練開催は以下の通り

月日	内容	参加人数
平成 25 年 6 月 26 日	4施設合同訓練	44 名
平成 25 年 10 月 11 日	4施設合同訓練	29 名
平成 26 年 2 月 25 日	救急救命講習	32 名

(4) 事業経営の透明性の推進

①第三者委員評価

昨年度からの懸案事項であった第三者委員の任命を平成 25 年 10 月に行い、苦情解決責任者に対しリスク管理等意見をいただく体制を作りました。なお、25 年度について苦情申し立ては無ありませんでした。

②定款、規程などについては、事務所内に保管いつでも確認できる体制をとっており、さらに就業規則、給与規程については職員各位に配布しています。平成 26 年 3 月に職員の福利厚生の実施及び賞罰等の文言整理のため、就業規則及び給与規程等を廃止又は変更し、現在の実情に沿った規程の制定に努めました。

9.役員・職員配置

(1) 本部 理事 7 名 評議員 15 名 監事 2 名

(2) 事業

①職種別職員数

職 種	介 護 福 祉 士		ヘルパ [○] -1 級 (介護職員研 修修了者含 む)		ヘルパ [○] - 2 級		看護師 言 語・ 作 業		栄 養 士		保 育 士		事 務・運 転 手・世 話 人・調 理 員		合 計
	常 勤	非 常 勤	常 勤	非 常 勤	常 勤	非 常 勤	常 勤	非 常 勤	常 勤	非 常 勤	常 勤	非 常 勤	常 勤	非 常 勤	
年 度 初 め	8	4	1	1	1	13	2	0	1	0	0	0	1	5	37
年 度 末	9	4	1	1	1	11	2	2	1	0	1	1	2	11	47

②職員採用

区分	採用年月日	職種	処遇	採用理由
採用	4月1日	介護福祉士	正職員	介護員増員
採用	4月1日	保育士	正職員	新規事業のため
採用	4月1日	2級ヘルパー	非常勤	新規事業のため
採用	4月1日	介護福祉士	準職員	介護員増員
処遇変更	6月1日	世話人職	嘱託職員	非常勤から

採用	7月16日	看護師	非常勤	介護員増員
採用	8月6日	夜間支援員	非常勤	新規ケアホーム
採用	9月9日	2級ヘルパー	準職員	介護員増員
採用	12月3日	夜間支援員	非常勤	新規ケアホーム
採用	12月3日	夜間支援員	非常勤	新規ケアホーム
採用	12月3日	夜間支援員	非常勤	新規ケアホーム
採用	12月9日	保育士	準職員	新規事業のため
採用	12月26日	事務職	非常勤	事務要員確保
処遇変更	1月1日	看護師	準職員	介護員増員
採用	2月19日	運転手	非常勤	送迎要因確保

③退職

区分	退職月日	職種	処遇	理由
退職	2月28日	ヘルパー2級	非常勤	自己都合
退職	3月31日	介護福祉士	非常勤	自己都合(結婚)
退職	2月28日	ヘルパー2級	非常勤	自己都合

10. 平成25年度人件費等過誤訂正

平成25年3月にて下記金額の過誤訂正を行いました。

- ① 時間外単価・深夜労働時間等の訂正（平成26年2月8日理事会報告済）
影響額（支給不足）¥362,430 影響人数 32名
- ② 課税交通費の過誤（平成26年3月8日理事会報告済）
影響額（支給過多）¥300,702 影響人数 19名
- ③ 有給訂正（平成26年5月17日理事会報告済）
影響額（支給過多）¥201,841 影響人数 15名

11. 平成25年度事故報告

別紙①